

◆ 使用上の注意

※ 双眼鏡で太陽を見ないように注意して下さい ※

○太陽が視野(みえていた範囲)に入ってしまったら、すぐに双眼鏡を別の方向に向けるか、目を閉じるなどして、太陽を見つめないようにして下さい。太陽のように強い光を双眼鏡で見ることは、目が失明してしまう場合があります、大変危険なことです。

○双眼鏡は一般に、防水製品ではありません。防水タイプ以外の双眼鏡では雨天時のご使用はさけるか、ぬらさない様にご注意下さい。

○双眼鏡を落としたり、硬いものに、ぶつけないようにして下さい。強い衝撃により、正確に調節されているレンズが動くなどして、よく見えなくなってしまう。

○レンズをさわらないようご注意ください。キズやカビの原因になります。汚してしまった場合には、レンズクリーナーなどを使用して、ていねいに拭き取して下さい。

○お子さまが使用する場合には、安全を大人の方が確認して下さい。

○双眼鏡を直射日光の当たる場所に放置しないで下さい。火災の原因になる場合があります。

○長く使わない場合には、ホコリや高温多湿の場所を避けて、保管して下さい。

○双眼鏡は分解しないで下さい。元にもどしてもよく見えなくなる場合があります。

◆ 使い方

双眼鏡は使用する前に必ず、次の項目にしたがい調節する必要があります。

◇ 双眼鏡を目の幅にあわせませす(眼幅調節)

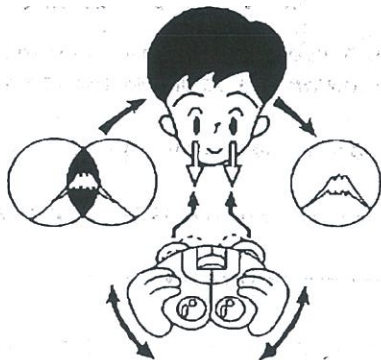
はじめに眼幅調節をしておきます。これは双眼鏡の左右のレンズ間隔を、ご自身の左右の目の幅(眼幅)に合わせることで、

双眼鏡は左右の鏡体(レンズの入った筒部)を中央部で折りたたむことが可能で、この事によりレンズの間隔を変えることが出来ます。

この眼幅を双眼鏡をのぞきながら動かして、左右の目の幅と一致させます。

眼幅が合うと双眼鏡の視野(見えていた範囲)が一つの円に見え、一致したことがわかります。正しく合っていない場合は二重に見えたり、視野にかけがでたりして観察しにくくなります。

眼幅調節には、動かせる範囲がありますので無理に折り曲げないようにご注意ください。



◇ ピントの合わせかた(焦点調節)

一般の双眼鏡は中央部のピントリング(転輪)を回すと、左右のピント(焦点)を同時に合わせることが出来ます。(中央繰出タイプ)

ピントリングのない、接眼部調節タイプの場合には、接眼部の左右の見口部分をそれぞれ回してピントを合わせして下さい。この場合には次項の視度調節の必要はありません。

双眼鏡は遠くの景色を観察するためのもので、あまり近くには、ピントが合いませんのでご注意ください。

◇ 左右の視度を合わせます。

双眼鏡見口部の視度リング(左右のどちらか一方にあります。)目盛りを'0'に合わせてからピントを確認し、左右のピントが同じであれば、そのままご利用いただけます。

ピントが一致しない(片方がぼやけて見える)場合は、左右の目に視力差があります。双眼鏡で倍率を高めて観察をすると、ピントの合う範囲が狭いために、視力の差が目立ってしまうからです。この視力差を調節する為に双眼鏡には、視度リングがあります。

左右の視度を正確に合わせるためには次のように調節します。

- 1 左右の見口のどちら側に視度リングがあるか確認して、目盛りを'0'に合わせます。
- 2 双眼鏡をのぞき、遠くの景色にピントを合わせます。
- 3 向目を見口にあってたまま、視度リングのない方の目だけで見て、ピントを確認し、ずれている場合はピントリングを回して合わせなおします。
- 4 次に、反対の視度リングのある方の目で同じ景色を見て、ピントが合っていれば、調節の必要はありません。
- 5 ピントが合わず、ぼやけて見える場合には、視度リングを回してピントを合わせて下さい。
- 6 これで左右の視力差を、双眼鏡の視度で調節できたことになります。

ピントリングでピントを合わせます



視度リングで調節します

※視度リングは左右の見口の片側にのみあります、もう一方の見口は固定されていますので無理に回さないようにご注意ください。調節した各部は固定されませんので、観察中に動かさないよう、双眼鏡の取り扱いにはご注意ください。

◇ ズームの使い方(ズーム双眼鏡のみ)

接眼部右側のズームレバーを動かすと、双眼鏡の倍率が変わる「ズーム操作」がおこなえます。通常は低い倍率で対象物を探し、そのまま倍率を高めて詳しく観察します。連続して倍率を変化させられるためズーム操作を途中で止めても観察することが出来ます。ズーム操作をして倍率を変えた場合、ピントが少し変わりますので、見にくい場合にはピントを合わせなおして下さい。

◇ 見口ゴムについて

見口ゴムは遮光の役目をしていて、目のまわりを被うことにより迷光が入りこまないようにするものですが、メガネを使用されている方がそのまま使用した場合、双眼鏡と目の距離が開いてしまうので視野全体が見えずに観察しにくくなってしまいます。

このことを解消する為に、見口ゴムは外側に折り返すことができます。遮光効果はなくなりますが、メガネをかけたままでも視野全体が見え、観察しやすくなります。(機種によっては、適合しない場合がございます。)



双眼鏡保証書

1年間保証

御購入年月日 年 月 日

販売店名

製造上の原因に基づく故障に対しては、ご購入の日より1年間保証責任がついております。
故障修理が必要な場合には、下に表示されている規定をごらんの上、この保証書を添えてお買上店が
当社修理課までお届け下さい。

株式会社ミザール

本社・営業所 〒171-0061 東京都豊島区長崎3-19-14
TEL. 03(3974)3760(代)

◆ 製品保証規定 ◆

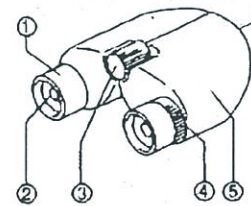
- 修理の際は必ず本保証書を添えてお申し付け下さい。ご呈示のない場合には有償となります。
- ご購入店名印、年月日の記入のない場合には無効となりますのでご注意ください。
- 保証期間中（お買い上げ日より1年間）に故障した場合には、以下に示す場合をのぞき無償修理いたします。
 - 天災、火災による損傷や故障。
 - お取り扱い上の不注意による損傷や故障。
 - 当社以外で修理、調整、改造をされた場合。
- 本製品の保証修理以外の補償はお受けできません。
- 当保証書は紛失されても再発行はいたしませんので、大切に保管下さい。

お名前	
ご住所	〒 TEL ()

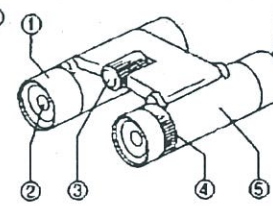
BINOCULARS

ミザール双眼鏡使用説明書

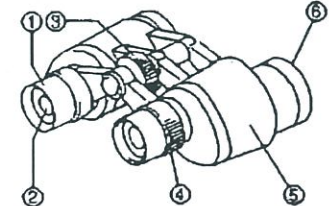
コンパクトタイプ



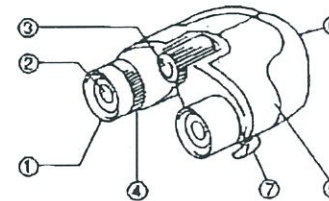
ダハタイプ



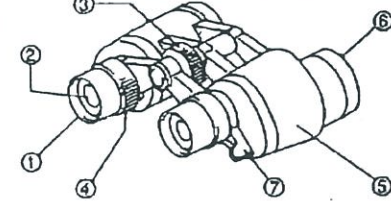
スタンダードタイプ



コンパクトズーム



スタンダードズーム



各部名称

- | | | | |
|-------|--------|-------------------|--------------|
| ①見口ゴム | ②接眼レンズ | ③ピントリング（転輪） | ④視度リング（片側のみ） |
| ⑤鏡体 | ⑥対物レンズ | ⑦ズームレバー（ズーム双眼鏡のみ） | |

◆ はじめに

このたびはミザール双眼鏡をお買い上げいただき、ありがとうございました。
双眼鏡は精密な光学製品です。誤った使い方をすると見にくだけでなく、双眼鏡をこわしてしまう場合があります。
この説明書を読んで、正しい使用法を理解され、より安全にご利用下さい。

◇ 双眼鏡のタイプについて

双眼鏡の各部名称はそれぞれの双眼鏡によって違いがありますので、上に表示されている、各タイプに対応する
図で確認して下さい。

◇ 双眼鏡の性能について

- 双眼鏡には、倍率と対物レンズの大きさ（対物有効径）が表示されています。“8×21”や“7×50”のように表示
されており、それぞれ8倍21mm、7倍50mmの双眼鏡であることがわかります。
- 実視界は、双眼鏡を使用して実際に見える範囲を、角度であらわしています。“Field 8.5°”であれば実視界が8.5度
であることになります。（機種により表示されていないことがあります）
- 1000m先視界は、“122m/1000m”の様に表示され、1000m先にある122mの範囲が双眼鏡の視界に見
えます。
（機種により表示されていないことがあります）